

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月18日

【評価実施概要】

事業所番号	0174100495		
法人名	有限会社 グッドウィル		
事業所名	グループホーム はるとり		
所在地	北海道釧路市春採2丁目27番1号 (電話) 0154-41-0206		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年2月18日	評価確定日	平成20年3月18日

【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 14人, 非常勤 6人, 常勤換算	10.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	14,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,500 円	

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	5 名	要介護2	7 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 84 歳	最低	71 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	釧路中央脳神経外科病院、さい内科クリニック、望洋歯科クリニック
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広い敷地の中にはゆったりとしたホームと広い駐車場や畑が作られ、夏には作物や花が植えられています。共用空間から直接出られるウッドデッキの先の畑にはビニールハウスも用意され、日光浴や散歩をかねて作物を見に行かれる利用者さんたちもいらっしゃいます。職員は皆さん明るく楽しい雰囲気の中で共用空間には笑顔と笑い声が溢れています。ホーム長は認知症介護の経験も長く利用者やご家族、職員等皆さんから信頼をされています。リハビリをかねた体操や歌、ゲームなど楽しみながらできるように工夫され、ほとんどの方たちが参加をされています。毎月の通信の題字は利用者さんが交代で書かれ、ご家族にも喜ばれています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では夜間入浴の検討があげられていましたが、検討し実施をした結果、利用者さんのご希望で中止されました。緊急時の手当を全職員が身につけることについては、新人職員以外は全て研修を受けています。新人職員に対する研修も日程が決まっています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員全員が一人ひとり自己評価に取り組んで、評価表を作り上げたことで日頃のケアに対する振り返りができ、職員からの意見も聞かれました。評価の中で今後の目標もできています。自己評価表は見やすい場所に置かれ、誰でも見られるようになっています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2か月に一度実施されています。主な主題については家族懇談会の報告について町内会と合同の防災訓練について行事及びホーム内の近況報告について今後の行事予定について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月たくさんの写真を添えて利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事の様子、職員の紹介などが載せられた「はるとり つうしん」を発行しています。家族会も作られ、ご家族の集まる行事なども多く用意されています。面会時等にも意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをし、運営推進会議にもご家族の代表が出席されご意見をいただいています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 外出時にはお会いした方々に積極的に挨拶し声をかけています。行事の案内もされ、地域の方々との交流が図られています。通信も町内の方たちに回覧をしていただいています。運営推進会議を通じて更に地域との連携が行われ町内会との合同防災訓練も実施されました。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所の理念をもとに、フロアーの理念を作り地域の中で互いに支え合いながら暮らしていくことのできるホームを目指している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員で理念が共有され、ケアプラン作成時等会議の中などでも職員から理念をもとに考えられた意見が出されるようになっている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会入会は現在、申し込みをしている。散歩や畑での作業などの時にお会いした方たちには挨拶を欠かさずに行っている。運営推進会議に地域の方たちのご参加くださり、ホームのお祭りのチラシを配布していただいたり、町内会との合同防災訓練も実施することができている。		これまでも地域の方たちとの連携をはかりボランティアの方に来ていただいたり畑での交流ができてきているようですが、今後も更に地域の方たちとの交流をすすめることを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解し、会議でも検討され、研修を行うほか更に具体的な取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については、家族会会長・民生委員・包括支援センター、ホーム長・事務長・介護支援専門員・職員が参加し、2か月に一回開催されている。会議を通してホーム行事の案内も町内会にさせていただけるようになってきている。		運営推進会議を通して、町内会との合同防災訓練も行い、協力が得られていますが、今後も更に多くの方たちのご協力が得られたり、具体的な係わりについて考えられることを期待します。
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者やホームの運営等に関する質問などにはその都度相談をし、サービスの向上に努めている。年に2回の地域包括ケア会議にも近隣ホームの代表として参加し、包括支援センターの他、市の担当者等とも意見交換をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「はるとり つうしん」で利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、スタッフの紹介等がなされるとともに金銭管理についても報告がされている。また、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んでいる。家族会をつくり総会の他、行事ごとに集い、意見などを言っていただく機会を設けている。苦情相談窓口は明確にしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	1・2階の職員の異動や離職はなるべく少なくし、異動などのために担当者が代わる場合には次に担当になる職員を利用者と相性の良い人とし、異動前からより多く係わりを持つなどの配慮をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部での研修時にはなるべく多くの職員が参加できるようにしている。参加できなかった職員には会議時に報告が行われている。職員採用時には緊急時の手当など必要な研修を組む他、経験豊富なホーム長などの職員が働きながら職員を育てる取組みがされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協議会に入り、交換研修・訪問研修や積極的な勉強会などへの参加を通じて同業者との交流をし、サービスの質を向上させていく取組みをしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消できるよう取組んでいる。見学時には一緒におやつを摂っていただいたりカラオケをするなどホームの雰囲気に馴染めるようご家族とも相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	貝や魚のさばき方、お料理のこつ、畑のおこし方、芋の植え方などを教えていただいたり、一緒にお漬物を作ったり、日々の食事の用意などを一緒に行うなどしながら支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常の会話の中から食べたいものやその日に着たいもの、買い物やパーマをかけに行くなど出かけた希望などそれぞれの方の意向の把握に努めている。直接訴えられない場合にはご家族にもご協力をいただきながら把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式をとり入れている。基本的には利用者との会話や係わりから意見を汲み取り、介護支援専門員・担当者・ホーム長が元となる介護計画を作り、他の職員の意見を聞き、家族のご意見と同意をいただいている。ご家族の意向で更に見直し、別の介護計画とすることもある。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に計画的に見直しが行われている。また、利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ご家族が連れて行けない場合の通院の支援などの他、友人宅にお連れするなど柔軟な支援に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	ほとんどの方が入居前からのかかりつけ医にかかっている。看護師が職員として配置され、24時間の相談体制がとられている。往診も受けられるようになっており、相談をしながら健康管理などを行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に向けた指針については家族会で話し合っている。本人・ご家族と早い段階から話し合い、できる限り希望に添えるよう考えている。同法人経営の別のホームでの終末期対応も参考にし、医療機関とも相談し指示を受け共有しようとしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重して声かけなどを行っている。記録についても利用者や訪問者などからは見えないところで行われ、記録等の管理も決められた場所で行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本になる生活はあるが、その日の体調や希望に合わせ、買い物や散歩、外食や白鳥を見に行くなど外に出かけたり、食事の準備や遊びの選択など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛りつけ、配膳、水を配るなどそれぞれの利用者が本人の希望や力量に応じて役割を持ち、一緒に食事の準備をしている。食後は片付けをしたり会話を楽しんだり食後の喫煙をしたりと和やかに過ごしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の順番は基本的に決めているが利用者の希望に応じて入浴日の変更も行っている。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように入浴の長さは配慮されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備では調理・盛りつけ・水の係など利用者同士で役割が決まっておりその仕事になると声をかけあっている。畑やビニールハウスの様子を見に行ったり、包丁研ぎや雪かき、普段のゲーム・体操など張り合いのある日々が過ごせるよう支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や公園などでの散歩、ウッドデッキやその先に続く畑で日光浴をするなど日常的に出かけられるようにしている。ビニールハウスの様子を見に行きながら暑さに応じてこまめにハウスの開閉をしてくださる方もいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関・ベランダは日中はいつも解錠している。畑・ビニールハウスなどへは頻回に出るため、職員がついて歩くことを嫌がられたりすることもあるので、ご家族の了解を得て職員がベランダからしっかりと様子を見るようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は夜間を想定したものも含めて年2回実施されている。町内会との合同防災訓練を行い協力を得られている。防火管理責任者をおいている。		今後は、近隣の住民の方たちに何かお願いできるのか、避難後ホームに入ることができない場合に、誰がどこにどのように利用者を移送するのかなど更に実際の災害時の想定を細かくしていくことが望めます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量は体調などによって記録され、体調管理がなされている。水分については記録され少ない方には摂取できるよう促されている。入居後、糖尿病が安定した利用者もいる。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には気になる音や光は感じられなかった。窓には利用者が水やりを日課としている鉢花が置かれている。近所の方からいただいたおひな様が飾られ、職員が利用者と共に折り紙で作ったおひな様も壁に飾られるなど季節感を採り入れて居心地良く過ごせるような工夫がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、使い慣れた家具やテレビなどが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。それぞれの家族の写真や飾りがあり、一人ひとりが落ち着いて過ごせる空間となっている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。